

### カテイラン

#### 郊外散歩に

#### 手輕なお辨當

試験休みが来ました暖かい春の日和に家族同伴で散策に出るも一興です、そんな場合の楽しい簡便なお辨當の仕度を御紹介します

### 常磐文藝

#### 死に行く獸

宵の夢生

それは寒い朝だ  
籠におしこめられた豚が  
荷馬車に乗せられて通つて行く。

そうだ  
彼は死に行く獸なのだ  
生の終り位は知つてゐるらしい

彼も生物の一つだもの  
朝のこの澄みきつた冷めた  
寒氣の中に  
悲鳴を流してゐる。  
生を持つてゐるものはすべて  
一度はこの悲鳴を流さねば  
ならぬのか  
あゝたまらない。  
一九三三三三三三三三

### 看護婦派出所

の求めに 應ず

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### ◎生徒募集

一、願書提出期日 大正十三年三月二十五日限  
二、試験期日 同年三月二十八日午前九時より  
三、試験科目 國語算術の二科目

### 右廣告ス

磐城佑賢學舎

## 三月人形

(小道具一式)

カワイイ 人形  
キレイナ お雛様

例年の通り本日から賣出します  
是非御用命の程を

銘茶雜貨 いづや  
平町二丁目(百七銀行隣)

が子供のためにはうでたはうれん草か焼玉子などを選び生肉などは避けたがよい又豆や栗のきんごんを入れるとよいきんごんはジャムよりも特別な營養上の効能があつて結構である

### 一冊の代金で

### 御希望通りな

### 五冊の雑誌が

### 自由で読める

平町長崎町三五  
川崎回文庫  
(申込次第規則書進呈)

## 筆記帳大賣

りよ日廿月三

金一圓以上御買上の方に  
フク券呈上

- 一、感じがよいこと
- 二、紙質に於て吟味
- 三、運筆に於て輕快
- 四、製本に於て堅牢
- 五、値段に於て低廉

弊店のノートは右の五大特色を持つ

下坂校學中町平  
店分堂光清  
(番五一三話電)

## 靴と運動具が

### 空前の大勉強

と云ふ事は豊富な品を御一覽下さればわかります

平白銀町(驛前)  
大塚支店  
徒弟數名入用



### 株式買中値

左記の値段は今日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	二二五	一〇五
磐城實業	三〇〇	二九五
田村實業	二二五	二二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一八八
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	二二五	一六〇
同 新	二二五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同 新	二二五	一八〇
只見川電	二二五	七三
植田水電	二二五	一五五
好間水電	二二五	一四五
磐城建物	二〇〇	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二五〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同 新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	七三〇
同 新	二二五	三八〇
平運送	一一五	八〇

### 東新株

先限 實物

前場後場共入電致居候  
平町田町 電話三三二番  
丸登株式会社  
川添房二郎

# 常磐新聞

定部金貳圓 五號十二休日曜大祭福島縣石城郡平町町廿六番地  
一月極二限り 廣告五號一行 刊日祝日ノ外 印刷所一〇活版所  
一ヶ月廿錢 料五十錢 日祝日ノ外 印刷所一〇活版所

發行編輯人 川崎文治  
印刷所 福島縣石城郡平町町廿六番地  
發行所 常磐毎日新聞社

三月廿四日夕刊

### 思想界十把一束論

不攀大岳人

(十)

先年の戦争で佛蘭西側が勝を占めたのも連帶思想に依る底力の結果だと云はれて居る位であります。

私の見る處では世界大戰以後は今迄の様な單純な社會政策に満足する時代は去つたので、獨逸流のマルクス主義と佛國流の連帶主義との争鬪の形になり、そして後者が追々勝を占める大勢に在るものと觀察して居るのであります。

然らば何故に連帶主義が此

の社會思想の指導者たる運命を持つものかと觀察するか即ち之れは他の諸主義と比較して見れば首肯し得るのであります。

第一は無政府共產主義であります、無政府主義は個人主義を極度に推進して國家強制を絶無に仕様と云ふ主張であります。

決して政府を否認するのではないのであつて、現代の様に民衆の統治機關を置きませんが、その機關である政府と云ふものに民衆統御上種々の強制權力を認めない主義であります。既に單純な個人主義すら非常な弊害があるから、その

極端なものである以上弊害が又それに數倍すると云ふ事は明であります。共產主義は從來は財産を器械的均一的に分配する主張でありましたが、右の無政府主義と結び付ける事になつて以來は私有財産所有權制度の全廢に變り一部の財貨を空氣と同様に公共物とし各個人が取つて消費する儘にする云ふ趣旨になつたのであります。

斯る理想が行はれるには一方に財貨が無限であり他方に各人が一の私心なく皆仙人同様にならなければ駄目だと云ふ事は定説があるものであります。

